

コメント

1. インフルエンザ

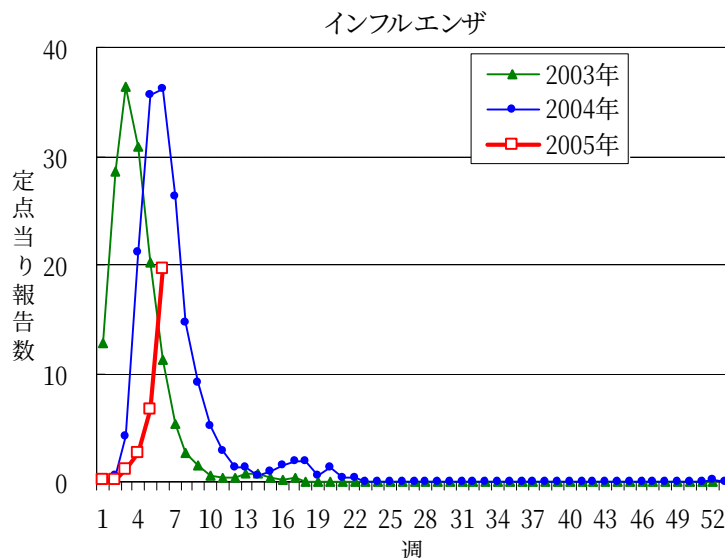
定点当たり19.7人と4週続けて急増しており、国立感染症研究所が定めた注意報レベル（定点当たり10人）を超えました。安芸区では40.7人と特に多く、東区24.5人、安佐北区24.4人、安佐南区、佐伯区ともに21.5人となっています。

2. 感染性胃腸炎

定点当たり13.3人とほぼ横ばいとなっています。安芸区26.0人、西区20.0人と特に多く、東区14.7人、中区13.7人、安佐南区13.0人、佐伯区11.7人となっています。

3. 流行性耳下腺炎

定点当たり1.29人とやや減少しています。安芸区では2.5人となっています。



5類感染症報告状況 (定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均 過去5年間 (注1)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均 過去5年間 (注1)	発生記号
インフルエンザ (注2)	728	19.68	19.23	↑	麻疹 (注3)	-	-	0.03	
咽頭結膜熱	4	0.17	0.13		流行性耳下腺炎	31	1.29	0.66	↗
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	20	0.83	1.22	↘	RSウイルス 感染症	1	0.04		
感染性胃腸炎	318	13.25	12.03	→	急性出血性 結膜炎	-	-	-	
水痘	42	1.75	2.00	→	流行性角結膜炎	7	0.88	0.95	
手足口病	7	0.29	0.16		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	4	0.17	0.25		無菌性髄膜炎	1	0.14	-	
突発性発しん	26	1.08	0.87		マイコプラズマ 肺炎	1	0.14	0.34	
百日咳	-	-	0.04		クラミジア肺炎 (注4)	-	-	-	
風しん	-	-	0.01		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	-	-	0.04						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね 1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね 1:1.5~2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね 1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

一時的な変動と考えられる場合は、前週との比較ではなく傾向を示しています。また報告数が少なく傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 37 (小児科定点含む)
小児科定点数 24
眼科定点数 8
性感染症定点数 9
基幹定点数 7

注1) 過去5年間の同時期平均 (定点当り)
注2) 高病原性鳥インフルエンザを除く
注3) 成人麻疹を除く
注4) オウム病を除く

1類～5類感染症報告状況 (全数把握対象分)

報告はありません。

5類感染症報告状況の推移（定点把握対象分）

			A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 感染性胃腸炎 水痘 手足口病 伝染性紅斑 突発性発しん 百日咳 風しん ヘルパンギーナ 麻しん（注2） 流行性耳下腺炎 RSウイルス感染症 急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎 細菌性髄膜炎 無菌性髄膜炎 マイコプラズマ肺炎 クラミジア肺炎（注3） 成人麻しん																				
			インフルエンザ（注1）																				
報告数	広島市	第2週	9	2	18	490	76	3	4	26	1	-	1	-	31	3	-	1	1	-	1	-	-
		第3週	43	4	35	476	51	10	3	17	2	-	1	-	5	2	1	5	-	-	2	-	-
		第4週	99	4	30	471	72	6	2	14	-	-	-	-	32	4	-	8	-	-	1	-	-
		第5週	245	2	27	348	46	5	3	17	-	-	-	-	36	2	1	10	-	2	2	-	-
		第6週	728	4	20	318	42	7	4	26	-	-	-	-	31	1	-	7	-	1	1	-	-
定点当り	広島市	第2週	0.24	0.08	0.75	20.42	3.17	0.13	0.17	1.08	0.04	-	0.04	-	1.29	0.13	-	0.13	0.14	-	0.14	-	-
		第3週	1.16	0.17	1.46	19.83	2.13	0.42	0.13	0.71	0.08	-	0.04	-	0.21	0.08	0.13	0.63	-	-	0.29	-	-
		第4週	2.68	0.17	1.25	19.63	3.00	0.25	0.08	0.58	-	-	-	-	1.33	0.17	-	1.00	-	-	0.14	-	-
		第5週	6.62	0.08	1.13	14.50	1.92	0.21	0.13	0.71	-	-	-	-	1.50	0.08	0.13	1.25	-	0.29	0.29	-	-
	全国	第4週	19.68	0.17	0.83	13.25	1.75	0.29	0.17	1.08	-	-	-	-	1.29	0.04	-	0.88	-	0.14	0.14	-	-
第5週		7.94	0.19	1.61	10.80	1.97	0.25	0.30	0.68	0.01	0.01	0.04	-	0.96	-	0.02	0.62	0.01	0.02	0.21	0.01	-	
			16.46	0.21	1.50	9.06	1.95	0.19	0.26	0.62	0.01	0.01	0.04	-	0.96	-	0.02	0.63	0.03	0.02	0.23	0.01	-

注1)高病原性鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
咽頭結膜熱	2	男	2005/01/04	咽頭拭い液	アデノウイルス3型
咽頭結膜熱	1	男	2005/01/20	咽頭拭い液	アデノウイルス1型

インフルエンザが注意報レベルを超えました

インフルエンザの報告数が、国立感染症研究所が定めた注意報レベル（定点当り10人）を超えました。

インフルエンザは、主にインフルエンザにかかった人のせき、くしゃみ、つばなどの飛まつと共に放出されたウイルスを、鼻腔や気管など気道に吸入することによって感染します。特に、空気が乾燥すると、咽頭粘膜の防御機能が低下して、インフルエンザにかかりやすくなります。インフルエンザの本格的な流行シーズンを迎え、予防のために次のことに注意してください。

- ★ 人ごみを避けましょう。
- ★ 外出時は、マスクやマフラーを着けましょう。
- ★ 部屋の中は、暖かくし、湿度を保ちましょう。
- ★ 帰宅時は、うがいと手洗いをしましょう。

インフルエンザは、**38℃以上の高熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が強く**あわせて普通のかぜと同様の、のどの痛み、鼻汁、くしゃみやせきなどの症状も見られます。このような症状があるときは、インフルエンザにかかっている可能性がありますので、次の点に注意してください。

- ・ 早めに医療機関を受診して治療を受けましょう。
- ・ 安静にして、休養をとりましょう。特に睡眠時間を十分にとることが大切です。
- ・ 水分を十分に補給しましょう。

本週報は、インターネットでもご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

なお、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

この情報の詳細に関するお問い合わせ先

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2005年第6週 (2月7日～2月13日)